

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (南関東)	良くなる	一般小売店〔米穀〕 (経営者)	・夏場にかけて当地域でもプレミアム付き商品券が実施され、また、全体をみると高額品等が動いているという話も聞くので、地道ながら中小企業にもそろそろ出番が回ってくると感じている。
		百貨店(総務担当)	・前年は消費税増税による売上減があったため、前年比では増加する。
		一般レストラン(経営者)	・当店のよう駅に近くにある路面店は人の流れが多く人出があるが、自宅近くの駅から離れた商店街では閉店する店が増えているので、やはり立地条件もかなり影響している。
		旅行代理店(支店長)	・4月から合併して新しい会社となる。その関係もあって1か月ぐらいはばたばたするかもしれないが、2～3か月後は春の旅行シーズンにもなるので、システム関係も含めて良くなる。
		観光名所(職員)	・3月はかなりの旅客減だが、2～3か月後になるとゴールデンウィークや春のシーズンを迎え、毎年、旅客がかなり出てくる。
	やや良くなる	商店街(代表者)	・商店街では生鮮三品が充実していないので非常に厳しいが、当市でもプレミアム付き商品券の発行があるということで非常に期待している。少しでも光が差すような形で売上が伸びてほしい。
		商店街(代表者)	・統一地方選挙の結果にもよるが、今の流れでいくと好調は続く。イベント開催予定に対するレスポンスはとても良い。
		一般小売店〔和菓子〕 (経営者)	・政府のプレミアム付き商品券の発行などで消費が少し良くなるのではないかと。
		一般小売店〔家電〕 (経理担当)	・給料が上がる予定があるのか、客の購入予定の問い合わせが増えてきている。
		一般小売店〔家具〕 (経営者)	・株高もあって景気が良くなるような雰囲気があるが、当業界はあまり期待できない。しかし、景気は徐々に良くなる。
		一般小売店〔家電〕 (経営者)	・春闘で大手企業のほとんどがベースアップしたので、ムードが上がる。
		一般小売店〔文具〕 (販売企画担当)	・良くも悪くもなく、特に外商においての大型案件があるわけでもなく、全く案件がないわけでもない。世間で景気が良くて給料が上がっているという話を聞くが、我々のような文具業界には恩恵はなく、横ばいである。
		百貨店(広報担当)	・中間所得層の消費動向はあまり芳しくないが、今後、ベースアップ等での所得回復によって消費の回復が期待できる。
		百貨店(営業担当)	・前年4月以降は消費税増税の影響による不振が数か月続いたが、貯蓄性向の高い高齢者が消費を控えて1年経過するため、被服や服飾雑貨を中心に購買増が予測される。
		百貨店(店長)	・給与増などの条件がそろってきているので、期待はできる。
		百貨店(計画管理担当)	・服飾関係では昨年見送った初夏物の売上が見込める。
		スーパー(店長)	・前年は消費税増税がスタートして2か月後の一服状態のため、何とか目標の予算を達成して良い形での数字が見られるのではないかと期待している。ただし、来客数は前年から微増だが増えているので、3か月先は点数、単価が向上するように様々な工夫をしながら予算達成に向けて頑張っていきたい。
		スーパー(総務担当)	・前年は消費税増税後で低迷が続いたので、3か月後は前年比で現状よりはやや良くなる。
		スーパー(営業担当)	・円安、株高の状況が今しばらく続きそうであり、更に各企業のベースアップ等の影響が少しずつ出てくるような期待感もある。
		スーパー(ネット宅配担当)	・値上げが相次ぐ中、確実に売上増になっていく。また、客の嗜好も安心、安全、おいしい、楽しい等、価格以外への期待度も更に高まり、値上げ幅にプラスした単価増が見込める。
		コンビニ(経営者)	・気分的に良い時期に差し掛かっているので、これから景気が若干上向く。このままの状態が続いてほしい。
		コンビニ(経営者)	・桜が終わって五月晴れになり夏が来ると人間の動きも活発になるので、やや良くなる。
		コンビニ(エリア担当)	・消費税増税の影響が一巡したため、前年を上回る動きが見込める。
		衣料品専門店(経営者)	・昨年の消費税増税直後と違い、落ち着いた買物をし、外出も多くなっている。見るだけの来店客も増えているので、期待できる。

衣料品専門店（統括）	・客の価格に対する感度が前年より低く、まとめ買いや高額品がよく売れている。
衣料品専門店（営業担当）	・これからは春本番となって朝晩の寒さもなくなり、春物を求めるため購買力が上がる。
家電量販店（統括）	・4月以降の第1四半期は、前年と比べると良く見える。また、気温次第で大きな変化がある。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は以前から順調に入っているが、販売はあまり良くなかったのが、今月から少しずつ良くなってきている。
乗用車販売店（営業担当）	・来月から新車種投入があるので、期待を込めてやや良くなる。
乗用車販売店（販売担当）	・今年度の普通トラックの需要が全国ベースで8万5千台～9万台までいくかいかないかという感じていたが、10万台近くまで伸びるような状況である。後半、トラック需要については相当上がってくると予想されるので、やや良くなる。
住関連専門店（営業担当）	・省エネ住宅に関するポイント制度効果によってリフォームへの関心が高まっている。特に、ポイントの恩恵の高いシステムバス工事などの引き合いが増えており、今後の売上拡大に期待が持てる。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・昨年の消費税増税後の落ち込みがあるので、上がって当たり前だととらえている。
その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・政府の経済面の施策が当を得ているからである。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・企業の賃上げに期待している。
高級レストラン（副支配人）	・法人関連の宴会予約の推移からやや良くなる。
一般レストラン（経営者）	・今までは中心部から外れているという感じだったが、最近、当地域がマスコミに取り上げられる機会が増えている。
一般レストラン（経営者）	・株価も上がっており、2～3か月後はボーナスシーズンになるので、景気が良くなって客が増えてくるように期待したい。
一般レストラン（経営者）	・昨年は消費税増税に伴って若干消費を控える動きがあったが、1年が過ぎてその金額の感覚にも慣れてきたようである。今後は消費税10%への増税前にある程度は消費者心理も緩み、消費が活発化するように感じられる。
一般レストラン（経営者）	・大手各社の賃上げが影響し、やや良くなる。
一般レストラン（スタッフ）	・全体的にあまりぱっとしないものの、そろそろ桜も咲くし、雰囲気は暗くないので、少しは動き出してやや良くなる。
タクシー運転手	・今年は外国人観光客が増え、小売業の売行きが好調である。ガソリン価格が低下したため、電気料金などの値上がりに対しては一息つく形となる。中小企業でも賃金上昇の機運が期待感を高めており、消費の拡大にもつながるので景気は良くなる。
タクシー運転手	・タクシー業界の景気は別として、世の中は確かに上向いている。20日の金曜日、正確には21日の午前5時ごろ、六本木を実車しているとタクシー探しの客であふれ返っていた。花金のせいなのか、多少良くなっているのかというパブル期を思い出すような光景があった。
通信会社（経営者）	・給料が上がリ、消費税増税のマイナス影響が薄れる。
通信会社（経営者）	・賃金を上げる企業が多くなってきたため、景気が良くなる可能性を感じる。
通信会社（営業担当）	・月額料金の安さだけではなく、サービスのより満足を得られるコースが選ばれる傾向は続く。
通信会社（総務担当）	・大手の賃金上昇の影響が少し出始めるのではないかと考えている。
通信会社（管理担当）	・各業種の求人情報が増えており、今後、就業者数の増加が見込まれ、求人倍率が上がると見込んでいる。
ゴルフ場（支配人）	・曜日によるが、4～5月で予約を断る日がずすでに出ている。
ゴルフ場（支配人）	・天候や賃上げ等により個人の経済状況に好転の兆しが出れば、良くなる可能性もある。
その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人）	・一般の客は依然として低調であるものの、企業予約が増加してきている。今後、一般の客まで波及してくれば良くなっていく。
その他レジャー施設（経営企画担当）	・催事場や宿泊施設の予約は堅調に獲得している。夏に入る時期なので、昨年のような天候不順やデング熱の発生などによる出控えがあると景気への影響が懸念される。

	美容室（経営者）	・デフレ気味ではあるがミニバブルのようなので、はっきりした実感はわからないが、良くなる。
	その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・春闘の高額回答等もあり、給与面での上昇が大企業を中心にみられているため、購買意識が高まり高級車を中心とした需要が増える。3か月後、昇給や企業の業況が良ければ好調が続く。
	その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・ベースアップを実感して今後の購買意欲も衰えず、短期的には景気が上昇する。景気上昇が中長期でも維持できればと期待している。
変わらない	商店街（代表者）	・給料が中小企業まで上がると良くなるかもしれない。物価が上がっているのに給料はまだ上がっておらず、生活は厳しい。
	商店街（代表者）	・大企業では春闘でかなり給料を上げるところが多くなっているようだが、我々のような中小零細企業ではあまり利益が出ていないため、そのような恩恵はない。
	商店街（代表者）	・最近、近隣に大型店がオープンしているので、これからますます悪くなるのではないかと心配している。大型店がなくなることはないので、小さな店が減っていくということが周りでもある。これからは大変である。
	商店街（代表者）	・プレミアム付き商品券の発売が7月にあるが、これが商店街、零細小売業への追い風となるのではないかと。
	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・現在のような状況がしばらくは続く。消費者の節約という考えは変わらないが、必要な物は必要であるということである。
	一般小売店〔文房具〕（経営者）	・今月は変わらずにきていたが、天候等により大分落ち込んだ面があったのでマイナスになっている。全体としては前年並みに推移しているので、その点だけが気になることである。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・良くなることを希望し、努力もしているが、景気は決して良いとは言えない。必要不可欠な商品なのでそれなりに期待して努力している。
	一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・大企業や公務員以外は給料が上がっていないのに、どんどん物価が上がっている。4月からまた物価が上がることなので、景気が良くなるはずはない。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・4～5月になると新茶で売上が少し回復するが、企業のお茶の注文内容は一ランク下の値段に変更していく客が多く見受けられる。お茶が一番おいしい時期に突入するが、新茶の出来栄により、売上に影響される。味より値段を考えてしまう客の傾向が強い。
	百貨店（売場主任）	・4月以降は消費税増税で落ち込んでいたので売上は前年比では伸びると思うが、賃上げが中間所得層にまで広がってくると、売上も本格的に回復する。
	百貨店（総務担当）	・特に消費を押し上げる材料がなく、厳しさは続く。ただし、美術品など高額品はそれほど落ち込んでおらず、売上増の切り口として使いながら底上げを図っていく。
	百貨店（広報担当）	・日経平均株価は2万円直前まできており、その資産効果で百貨店全般で顧客の購買意欲は刺激され、売上も好調に転じていたが、今はその効果は感じられない。逆にインターネットによる購買行動の活発化や商圈内への大型ショッピングセンターの出店など、業態間競争が激化し、パイの奪い合いとなっている。ここ数か月間ではこの構図は変化せず、インバウンド需要などを取り込んでいる一部の都心店や大型リニューアル店舗以外は、アベノミクスなどで顧客の全体的な可処分所得の増加があっても苦戦は免れない。
	百貨店（営業担当）	・昨年は消費税増税前の駆け込み需要があったことと天候不順の影響もあり、婦人、紳士、子ども衣料共に前年を大きく下回っている。個人消費への底上げ感はまだ見当たらない。
	百貨店（営業担当）	・生活必需品の値上げが大きく影響するため、実質の変化はないと考える。円安の影響で更に物価が上がる可能性を残しているのは周知の事実であり、ボーナスが全体的に大きく上がらない限り、伸びる要素はない。
百貨店（営業担当）	・昨年5～6月は消費税増税後の影響を引きずっていたため、数値上の伸びは期待できる。一方、実態としては景気が回復したとは言えず、緩やかな回復という状況である。大手各社の賃上げのニュースが流れるなか、一般企業ではまだその恩恵を受けるには時間がかかり、二極化はさらに進む。店舗全体の売上の底上げにはもう少し時間がかかりそうである。	
百貨店（営業担当）	・前年は消費税増税前の駆け込み需要の反動減があったため、4月は前年比プラスで推移するが、消費税や外国人顧客の与件を除くと大きく変わると思えない。	

百貨店（販売促進担当）	・ 昨年の消費税増税後の反動減との比較となるが、消費者が賃金上昇を実感できるまでには時間がかかることや、食品等の値上げが報じられていることなどから、大きな変化はない。
スーパー（経営者）	・ 大手企業には恩恵があるが、末端の小売業にはなかなかない。
スーパー（販売担当）	・ 競合との価格競争もあり、客の買上点数は前年を上回ってきているものの、平均単価が前年を割っており、客1人当たりの買上額は前年をなかなか上回らない状況が続いている。
スーパー（経営者）	・ 大手を中心に賃上げが盛んに言われているので良くなると思うが、どの程度全体に波及してくるのか見極めが難しいので、まだ変わらない。
スーパー（店長）	・ メーカー各社が値上げを控えており、多少なりとも価格に転嫁せざるを得ない状況のため、値上げ後の価格に客が慣れてくるまで現状と同じような状態が続く。
スーパー（店長）	・ 客の購買意欲は変わらず、競合店の日替わり品やポイント還元時などで集中的に買い回りしている。また、各メーカーの値上げにより1品単価は上がっているが、買上数の減少はますます加速する。安い物、必要な物を必要なだけという傾向が一層強くなる。
スーパー（総務担当）	・ 昨年の4～5月は消費税増税で売上が非常に下がったため、それに対しては上乘せができるが、当店の客にとって賃金の上昇や年金の上昇等がなく、実質賃金があまり上がっていない状況で、客の買物をする目が非常に厳しく、必要な物以外は買わない状況が今後も続く。
スーパー（仕入担当）	・ 輸出企業を筆頭に好景気に転化しているようだが、輸入商材が多い流通業界はまだ厳しい。
コンビニ（経営者）	・ 周辺状況に変化がない。
コンビニ（経営者）	・ 期待を込めて横ばいである。
コンビニ（経営者）	・ 財布のひもは固いものの、高付加価値商品の売上は今後も伸びていく。
コンビニ（経営者）	・ 客の動きに合わせて天気が良くなると予想される日は売れる商品を若干増やし、天気が悪い時は店の負担にならないよう売行きが悪い商品をカットするという大胆な仕入をしないとこれからはうまく乗り切れない。段々と調整できるようにしてきたので、このところ来客数は微増ではあるものの、経営面では何とか頑張っている。
コンビニ（経営者）	・ 近隣の状況は何も変わらず、今の来客数からしても変化はない。
コンビニ（商品開発担当）	・ 来客数の動向も見ても回復傾向にはなく、今後、急激に回復することは見込めないが、より悪くなるようなこともない。
衣料品専門店（経営者）	・ 大きく景気が良くなる感じではなく、同じ様な状況が予想される。
衣料品専門店（経営者）	・ 昇給、ボーナスなどで消費が向上する機会は多いが、末端に来るにはまだ時間がかかりそうなので、あまり期待していない。
衣料品専門店（経営者）	・ 変わらないと回答したが、よく分からない。大手はベースアップ等で給料が上がる傾向にあるが、中小企業がどうなるのかということと、周りでは様々な値段が上がっており、合わせるとどうなるかがまだ読めない。4月以降に期待したい。
衣料品専門店（経営者）	・ 景気が良くなるとはまだ感じられない。周囲からも昇給や景気が良くなってきた話など全く聞かえてこない。
家電量販店（店員）	・ 衝動にかられることはなく、2～3か月後においても大きな変化はみられない。
乗用車販売店（経営者）	・ 4月以降の軽自動車税増税やエコカー減税の見直し等、状況はさらに厳しくなる。
乗用車販売店（販売担当）	・ 自動車に対する優遇対策や景気回復につながる対策がないと、景気向上に不安が残る。
その他小売【ショッピングセンター】（統括）	・ 可処分所得、実質賃金に変化がない限り、景気が良くなることは難しい。
その他小売【生鮮魚介卸売】（営業）	・ 最近では休日などに関係なく、売行きが良くない。
その他小売【ゲーム】（開発戦略担当）	・ 特に良くなる材料がない。
高級レストラン（仕入担当）	・ 2～3か月先ではまだ客単価が上昇するほどの勢いは望めない。このところの円安、国際相場変動等による原材料費高騰により、利益率は悪くなっている。

一般レストラン（経営者）	・統一地方選挙、人手不足による人件費の高騰、円安が気になるが、この状態が続けば財布のひもも少し緩むと思う。
都市型ホテル（スタッフ）	・先々の予約を見ても前年並みかやや下回っており、厳しい状況が続いている。春休みに入り宿泊を中心に動きが活発になるが一時的であり、継続的な売上の確保が難しく、何とか現状を維持していることから景気は変わらない。
旅行代理店（経営者）	・今はインターネットですぐに予約もできるし、また、現地直行の送迎バス等も運行しているので、中小企業にとって客を確保することは大変難しくなっている。
旅行代理店（従業員）	・団体旅行の予約は入るものの取消になる団体もあり、予約申込の人数ベースではあまり伸びはない。
旅行代理店（従業員）	・先の受注が増えていないので、良くなる見込みがない。
旅行代理店（従業員）	・中小企業の給料に反映されるまで、しばらく時間がかかりそうである。
タクシー運転手	・4月から新年度が始まるが、今までの動きがあまり良くないので、今後の動向を迷っている。決して良くはないので、先が気になる場所である。
タクシー運転手	・花見や歓送迎会等で飲む機会が多くなる時期である。多少流れも変わり、客が増えるかもしれないが、終電後まで飲み歩く客も減っている。
タクシー運転手	・良くなる気配がない。
タクシー（経営者）	・去年は消費税増税だったので例外だが、3～4月にかけては例年、売上が伸びる時期なので良いものの、通常月の利用が低下の一途をたどっている。5月以降は変化がないとみている。
通信会社（経営者）	・4月以降、管理会社等の情報営業も沈静化し、大手通信会社の光回線卸が本格始動して転用以外にも波及して、ケーブルテレビ加入者が狙い撃ちされる可能性がある。
通信会社（社員）	・春は引越しなどの影響で加入が増加すると考えられる。キャンペーンなども大幅に展開していく予定のため、良い方向にいけば良いが、同時に解約件数の増加も懸念しており、全体で見ると大きな変化はない。
通信会社（管理担当）	・4月からの値上げを控え、各世帯とも新たな購買は控えている。新入居等のイベントがある世帯を着実に押さえていくしかないため、大きな販売量の増加は期待できない。
通信会社（営業担当）	・大手企業では賃金のベースアップをするような報道はあるが、実際に身の回りにそのような人が少ないので、景気回復にはしばらく時間がかかる。
通信会社（局長）	・消費マインドに火をつけるトリガー的な商品、サービスが予定されていない現状では、横ばいが精々である。
通信会社（営業担当）	・希望的観測を含めての変わらないであり、良くなる材料が見当たらない。
通信会社（経営企画担当）	・客の商談規模に変化があまりない。
ゴルフ場（従業員）	・高齢化社会、人口減少等の傾向で将来にどう期待したらよいのか。2～3か月前であれば変わらない。
パチンコ店（経営者）	・当業界は機械台と客との相関関係がどうしてもあり、この先は面白い機械、客が喜ぶような機械が出る予定があまりない。客が以前よりお金を使わなくなったこともあり下がるかもしれないが、期待を込めての現状維持である。なかなか厳しい。
美容室（経営者）	・季節柄、売上は伸びているが、景気が良くなっているとは感じられない。
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・今月ちょっと良くても、そんなに急に良くなるとは思えないので、今までの流れのままである。
その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・大企業の景気が良くなってきているので街の景気も良くなってくると思っているが、一向に良くならない。
設計事務所（経営者）	・民間案件は相変わらず弱含みの感があるが、新年度に入れば官庁案件の発注が期待できる。しばらくは公共工事に依存せざるを得ない状況が続くようである。
設計事務所（職員）	・上向き、下向き、いずれの要因も考えられない。
住宅販売会社（従業員）	・ゴールデンウィークまでは販売量は落ちないと考えていたが、実際には今月からすでに落ち始めている。例年、ゴールデンウィークを過ぎると販売量が落ちる傾向にあるので悪い状況がしばらく続く。キャンペーン展開などの販促等を行うことで、何とか販売量を確保しなければならないと考えている。
住宅販売会社（従業員）	・来場者数及び契約の推移に特に落ち込みがない。

	住宅販売会社（従業員）	・現在の景気は良い方向で進んでいるものの、これ以上良くなるとは考えにくく、このままの景気で推移していく。新築売りアパートは好調だが、参入業者も増えてきたので価格高騰に注意しながら進めていきたい。
	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・原材料など仕入値は上がっているが、販売価格に転嫁すると売れない。高くても購入するというほどまで需要が高まっている訳ではないので、先行きとしては不透明である。
やや悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・消費税増税以後、家計の節約志向が続いている。春の陽気になり、お茶の消費を期待したが、あまり良くはなく、前年より下がっている。3月の陽気でも売上がとにかく上がってこない、むしろ下がってきている。
	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・需要が一段落し、2～3か月後は減る。
	百貨店（管理担当）	・4月からの諸物価の上昇により景気が後退する。
	衣料品専門店（店長）	・消費税増税からちょうど1年経過するが、来客数が前年同時期と比べて回復していないことを考えると、良くなる状況ではない。
	家電量販店（経営企画担当）	・季節変動の要因も含まれるが、商戦期とその端境期になる。国内の景気という視点では好材料は増えてきていると考えられているが、当業界への波及効果は予測できない。
	乗用車販売店（経営者）	・軽自動車税増税後の反動減で販売台数が落ち込む。整備部門も車検到来のユーザーの買換えの影響で、減少する見込みである。
	乗用車販売店（渉外担当）	・法人需要に比べて自動車税増税前の駆け込み需要があるはずの個人消費が悪く、さらに4月よりエコカー減税のハードルが上がるため、やや悪くなる。特に、4月は新入社員や入学式等切替えの時期なので、例年良くないこともある。
	住関連専門店（統括）	・必要な物以外は購入しない、決まった物が購入しないとといったように買い控え等が定着しつつある。この先も景気の伸び悩みが続く。
	一般レストラン（経営者）	・3月は年間を通してかなり良い方なので、2～3か月先はやや悪くなり、3月よりも2割ぐらいいは売上が下回る。来客数も少なくなるし、ケータリングも少なくなる。
	通信会社（営業担当）	・競合他社との価格競争が激しく、契約数は伸びても全体の売上は低迷する状態が続いている。
	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・学習塾の単価が段々下がっており、体験の日数も増えている。塾を辞める理由は心当たりがないが、親との面談等で消費税増税や食料品の値上げ等で食費の占める割合が高くなり、お金の面で厳しいという人が多くなり、滞納者も増えている。まだ中小の塾では景気回復の兆しは見られない。
	設計事務所（経営者）	・新しい民間の設計がなかなか受注できない。行政は入札のため新年度の4月からのため、現在は仕事がない。現在の仕事をいかにかうまくこなすかということで、締切に追われている。新しい仕事に一生懸命チャレンジしているが、給料が上がったから全体が上がるというものでもなく、新しい客を獲得するのは困難を極めている。この先、良くなるという見通しはあまりない。
	設計事務所（所長）	・民間が全く動いていない。行政だけの仕事で何とか年度が終わったという状況である。やはり民間が活発化しないと景気が良くなったとは言えない。
	設計事務所（所長）	・新しい情報及び計画がないため、下り坂に入る。
設計事務所（所長）	・仕事量が増える可能性はないので、景気は決して良くなるはない。	
住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場や各種イベント等の集客状況は上向いているものの具体性のある集客には至っておらず、受注の低迷傾向はまだ続きそうである。	
住宅販売会社（従業員）	・土地有効活用の大型物件が受注できていないため、小さな仕事で数字を作っていくなければならない状況が続く。	
悪くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・客と話をしても設備投資は全然考えていないようである。小売の方も商品に関して動きが全くない。とにかく良い話を聞く機会がまるでない。
	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・競合店の出店が毎年のようにあり、今後も続くためである。
	一般レストラン（経営者）	・当地域は選挙があっても変わらない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・この先の宴会の受注状況が伸びず、前年と比べても非常に悪い。

		住宅販売会社（経営者）	・住宅事業では消費税増税後、いくら広告を出しても反響がなく、客が全く来ない状況が続いている。総合建設業では建設費の高騰で採算が取りづらくなっている状況がいつ改善されるか全く見通しが立っていない。更なる消費税増税は延期されたが、大企業の景気が回復しているだけで、中小企業はまだまだである。政府の方で何か対策を打たない限り、この現状が当分続く。	
企業 動向 関連 (南関東)	良くなる やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・会社の設立印とは別に店頭で個人客からの印鑑の注文があるが、本数が増えてきており、納期が間に合わないで客に待ってもらっているような状態である。2～3月は年度替わりの忙しい時期ではあるが、季節的要因を外しても前年よりも注文が沢山来ている。	
		プラスチック製品製造業（経営者）	・大手はどこも良い決算を迎えようとしているので、それが中小企業まで回ってくれば良くなるのではないかと。	
		金属製品製造業（経営者）	・今までの見積で4月になってから発注すると言われているので、新年度に動き出せば良くなる。	
		建設業（経営者）	・大手が手一杯のため、地場企業に仕事が回って来る可能性がある。しかし、建築単価上昇で施主との折り合いがつかないケースが多々出てきている。	
		建設業（従業員）	・3か月先の仕事の見積依頼が大分来ているので、やや良くなる。	
		通信業（広報担当）	・駆け込み需要の影響がなくなるため、やや良くなる。	
		金融業（統括）	・株価が少しずつ上がっていることと、賃金等の引き上げで国内の景気が若干上がる。	
		金融業（営業担当）	・取引先の融資の延滞が減ってきている。倒産件数も減少気味ということと、各企業の受注の先行き、見通しが立っているため、景気が良くなるのではないかと思う。	
		金融業（役員）	・一部大手企業のベースアップの報道が、漠然とした将来への期待感を高まらせている。	
		税理士	・アメリカの景気が戻ってきて日本車が売れており、中国は不透明な状況もありよく分からないが、国内ではアベノミクスが政治主導して大企業は回復しているようなので、中小企業まで良くなってほしい。	
		税理士	・JR常磐線の全線開通により当地域の活性化につながり、景気は上向く。	
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・物流の動き等が活発になってきているので、良くなっていくと期待している。	
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（従業員）	・大企業の動きが活発化してきているので、少しずつ中小企業へも波及してくると期待している。	
	変わらない		食料品製造業（経営者）	・中小企業の給料はまだ上がってきていないようなので、このまま推移する。
			食料品製造業（営業統括）	・上向ききっかけがなかなか見当たらない。
			繊維工業（従業員）	・今月の当組合の脱退企業は4社に上っている。
			出版・印刷・同関連産業（経営者）	・我々のような零細企業は、大企業の景気回復から半年ぐらいたたないと動きが感じられない。
			化学工業（従業員）	・年度末の製品の動きがあまり良くなく、新年度で良くなると期待しているが、得意先ではそのような動きは全くないとのことなので、あまり期待できない。
			プラスチック製品製造業（経営者）	・4～5月は大きな変化はなさそうだが、文具の新企画が決まれば6月ごろに大きな山があるかもしれない。
			一般機械器具製造業（経営者）	・従来の単価形成から大分低価格になっている。以前の単価の物は姿を消しており、新しい物は皆安い困っている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・良くなる要素がない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・電気が心配なく使える時代が早くこないと根本的に景気は良くならない。自由に電気を使える状況下で省エネを考えるのが道理である。省エネの機器でも電気は消費する。	
		精密機械器具製造業（経営者）	・先月までと比べればやや改善がみられるが、不安要素は賃上げと大手から悪い方向への支払条件の変更がみられることである。手形振出しを多くしたいようである。日本から手形がなくなると本当の財政改革にはならない。	
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・社会的状況からみても、当業界においても特別悪くなるような情報や要素は見当たらないので、今のままでいく。	
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・世間ではベースアップや新卒者の話など景気の良い話も聞こえてくるが、美容業界においてはまだ来客数や個人単価が上がっている実感は全くない。	
		建設業（経営者）	・中小企業への景気対策が実施されていない。	

	建設業（経営者）	・新年度は官庁工事があまりないので、早めに民間にシフトしている。企業立地を進めているので引き合いが数件来ている。
	建設業（営業担当）	・年度末により発注件数は増えているが、工事単価が上がっているため予算超過が多く、不調、または予算内に納めるために発注金額調整をして発注しているため、顧客からの受注金額が伸びない。
	建設業（経理担当）	・この先に見積提出が控えている物件も今までは随意契約で受注できたものばかりだったが、競争の形になるなど、発注者側の予算は厳しく、地元の景気上昇感を味わえない。
	輸送業（経営者）	・2～3か月先はゴールデンウィークも控えている関係で観光地等は潤うかもしれないが、一般的には節約するため、あまり期待はできない。
	輸送業（総務担当）	・長期的に期待できる案件が少なく、また、取引先から定期ルートの減少、コースの見直しによる価格の低下などで厳しい状況が続く。
	金融業（従業員）	・昨年4月の消費税増税の悪影響からようやく脱し始めた気配がある。特に、運送業と一部の製造業では石油価格の下落が追い風となり、収益環境が改善している。一方、円安に伴う仕入コストの上昇などにより、厳しい資金繰りが続いている企業もみられる。
	金融業（支店長）	・大企業は業績が回復して資産や物価はインフレ状態だが、個人消費が今一つである。当面はこのような状態が続く。
	不動産業（経営者）	・このところ同じような状態が続いており、好転の兆しが見えない。
	不動産業（経営者）	・気候に加えて賃上げムードが良い方向に動く。
	不動産業（総務担当）	・ここ数か月間テナントの退出もなく、賃料の水準も上がってきており、安定的な状態が続いている。2～3か月先の傾向も変わらない。
	広告代理店（従業員）	・受注量や販売量が前年並みで推移している。
	広告代理店（営業担当）	・大手企業は夏までの広告宣伝計画の目途がほぼ立っていると思うので、秋以降の宣伝展開相談の声がかかるまで待ちの状況である。
	社会保険労務士	・良くなる要素が見当たらない。
	経営コンサルタント	・大手のベースアップなどが景気に反映されるか期待したいが、分からない。
	経営コンサルタント	・中小製造業の社長の話では、「春闘での大手企業の賃上げはベースアップも含み、かなり高い数字が出た。しかし、我々には非常に難しい水準である。当社だけではなく、中小企業の多くは同様であろう。4月から介護保険料も上がる。社員たちの財布のひもが緩むには時間がかかるのではないか。」とのことである。
	経営コンサルタント	・大手の好調は海外との関連が強く、国内の中小企業への発注増加の波及が薄い。中小への発注が増えないと波及しない。
	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・新規物件の引き合いは少しずつ増えてきているが、要求単価は依然として厳しい。その反面、人手不足で募集費が増えてきている。
	その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・2～3か月の間に取引先から新規の発注があるような様子は今のところみられない。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・よく分からないというのが本音である。日本の景気を考えた時に海外の要因が大きく影響する。様々な問題がくすぶっている。
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・マンションのインターネット環境整備が定着してきているため、当面は変化がない。
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・2～3か月後は年間を通して売上減の時期にあたる。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・封筒、はがき、名刺、カード類の受注量が減少している中、仕入価格の値上げは販売量に影響する。
	出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・時期的に受注量の少ない時期に入る上に、原材料の値上げや低価格での見積合わせなどで大変厳しい。
	金属製品製造業（経営者）	・得意先からの生産見通しが減産となっている。また、前年同期と比べても悪い。
	輸送業（経営者）	・燃料が安くなったかと思うと仕事がなくなる。仕事が出てきたと思ったら燃料が高くなる。大変厳しい。
	輸送業（経営者）	・5月は連休の影響で稼働日数が減少したり、また、燃料価格が上昇傾向をみせているなど、収入減、経費増が予想される。取扱量の増加は望めないため、現在より悪くなる。
	その他サービス業〔警備〕（経営者）	・今後、公共の仕事が予算付けされるまで一段と落ちる。

	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（所長） 電気機械器具製造業（経営者） 輸送業（総務担当） 広告代理店（経営者）	・4月以降の用紙価格の上昇が決定し、値上げ交渉をしているが難航している。大半が転嫁できない。 ・実際に景気が回ってくるような経済の流れが台頭してこないため、悪くなっていく。 ・毎年、新年度は出荷量が少ない。公共事業の予算執行が早まれば、国内出荷量が若干増える程度である。 ・昨年受注の大型案件が次年度も継続が決まったものの、規模が8割減になり、それに加えてここ数年の継続案件にも値引き要請が来た。いずれも不景気が理由である。
雇用 関連 (南関東)	良くなる	人材派遣会社（営業担当） 新聞社〔求人広告〕（担当者） 民間職業紹介機関（経営者）	・取引先、自社共に業績が良い。 ・新年度に向けて22社から新しい事業計画の話があり、すでに契約したところもあるので、良くなる。 ・建設業や不動産業がけん引して他業界も積極的に展開しているのか、求人数や採用数も伸びている。やっと人材への投資に向かってきたようである。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員） 人材派遣会社（営業担当） 人材派遣会社（営業担当） 人材派遣会社（支店長） 求人情報誌製作会社（編集者） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員）	・大手輸出企業の円安を背景とした業績改善が、賃金上昇に反映された。恩恵を受けるのは大手のみならず、裾野が広く関連会社にも今後、好影響をもたらす。個人消費は引き続きの課題であるが、緩やかに回復していくのではと期待している。 ・法改正を控え、派遣社員の期間制限、業務区分の廃止を踏まえた採用の活性化に期待したい。 ・求人数は正社員、派遣共に増加傾向にある。求職者とのマッチングにもよるが求人数が増加することにより雇用が流動化し、人材ビジネスとしての雇用は若干上向きになる。 ・受注量、求人者共に増加傾向にあるので、4月以降期待できる。 ・採用継続企業が増え、人材マーケットは忙しくなる。 ・パートの新規求職者が増加し、紹介件数も前年同月と比べて約2年ぶりに増加となっている。 ・求人者側の採用意欲は高まっており、在職者の転職に向けての活動も活発化している。 ・当月の新規求人数は前年同月に比べ減少したが、前月に大量に求人を受けていた反動で、傾向としては微増であり、今後もこの傾向は続く。一方で新規求職者は減少傾向が続いており、雇用情勢は徐々に回復してきている。 ・管内の化粧品製造会社の話では、国内販売は非常に順調であり、人手不足は相変わらずという話である。また、今後、アメリカ進出を考え、現地企業を買収したという話も聞いている。
	変わらない	人材派遣会社（社員） 人材派遣会社（社員） 人材派遣会社（支店長） 求人情報誌製作会社（営業担当） 求人情報誌製作会社（広報担当） 民間職業紹介機関（経営者） 民間職業紹介機関（職員） 民間職業紹介機関（職員） 学校〔専修学校〕（就職担当）	・現在は株価が非常に高いものの、景気が良くなっているわけではないので、この状態は変わらないという取引先が多い。 ・今のところ景気が悪化する要素は見当たらない。 ・企業側は業者集約で単価の下げ圧力が強く、派遣登録者側は仕事を選べるため、条件の良い仕事へ人気が集中し、ミスマッチが多く発生している。 ・採用に対する予算が増え、求人要請も増えてきたが、客との話から一時的な感じがする。来月につながる感じがしないので、まだ上昇とはいかないような気がする。 ・経済政策が成功しているといわれている現在の景気が良くなければ、これから良くなる要素は何も見いだせない。 ・売上及び営業利益の安定的な改善が少しずつ続けば、求人面でも多職種の採用につながるが、まだ時間がかかるのではないかと。 ・大手企業は新卒採用が8月から選考開始になったことにより、それまでは中途採用に力を入れると想定される。 ・当分、悪くなる材料が見つからない。 ・今後の求人獲得数の見込みについて、事前調査結果より新規募集、採用人数増加などの依頼はごく少数で、大きな変化がない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員） 職業安定所（職員）	・景気が上向き要素が見当たらない。 ・3月途中の状況ではあるが、新規求職者は前月並みの傾向で推移しており、企業の雇用調整の情報などから、事業主都合の離職者が増加する状況がしばらく続き、雇用調整の効果が表れるまでは雇用環境や景気は低迷する。
	悪くなる	-	-